

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	36 徳島県
市区町村名	36302上勝町
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位の	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
36302上勝町	③学校と家庭の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	本町は小中1校づつで、児童生徒数も70名程度の小規模校である。学校の授業での各児童生徒の理解度の向上のためには家庭学習の充実が必要であるが、校区内には学習塾等がなく町外の民間教育機関に通うことが交通の便からも困難な状況である。そこで児童生徒が学校の授業だけでなく、集団で補充学習をすることによって授業の理解度を高めたい。	小学校は、週4日年間155日、中学校は、週3日年間120日を目標に学習塾を実施する。小中学校共に、学習内容を授業と連携する。	年間目標よりも、実施回数が各学校の行事や授業内容により、減ってしまい、目標回数には満たなかった。しかしながら、全校児童生徒数から見ると参加者割合が高まってきた。	学校の授業でだされた課題を確実に提出できる児童生徒を増やす。学校終了後に行う補充学習の定着化を図る。特に新入生にも、学習習慣の定着化を推進する。	学習塾に参加する児童生徒の割合	83	%	90	85	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる。 学習塾に参加する児童生徒の割合は増加したが、目標値には届かなかった。小学校児童の参加割合だけみると、目標値を大きく上回るが、中学校の参加割合が低いことで全体目標には届かなかった。中学校については、部活動終了後からの学習会の開催であり、時間確保が難しい。また、高校受験対策等の学習内容を実施してほしい等の要望が保護者からあるが、実施できていないのも、参加割合が低い原因であると考えられる。また、小学校、中学校の面校にしていることで、冬場の時間確保、長期休暇中の開催が課題である。	http://www.kamikatsu.jp/docs/2026031800011/

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。